

火災から高齢者を守る 高齢者の住宅火災予防策

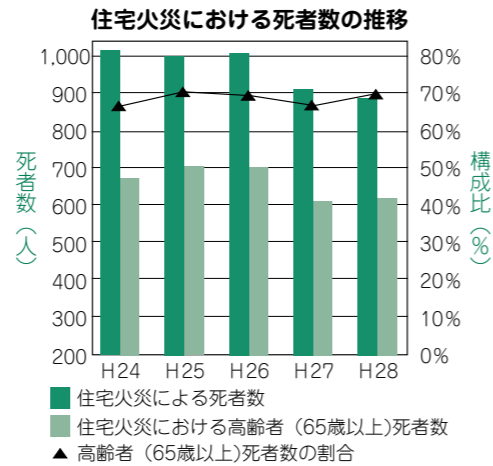
近年、住宅火災による高齢者の死者の割合が増加しています。万が一火災が起きた場合、普段の生活から予防をしておくことで初期消火や素早い避難・通報につながります。今回は、今からできる住宅火災予防について紹介します。 **問合せ先：消防本部予防課 ☎ 23-9988**

秋季火災予防運動
11月9日(木)～15日(水)
平成29年度全国統一防火標語

「火の用心
ことばを形に
習慣に」



◆ **火災を早く発見する！**
住宅火災で死亡した原因の1つに「逃げ遅れ」があります。寝ている間に発生した火災に気付かず、逃げ遅れてしまう事例が多く発生しています。
現在、こうした逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**の設置が消防法で定められています。住宅用火災警報器は、就寝中でも火災の発生を大きな音で知らせてくれるもので、避難に時間がかかることが多い高齢者がいる住宅には、特に確実な



最近5年間の住宅火災における死者(放火自殺者などを除く)のうち約7割が65歳以上の高齢者となっています。近年の高齢化の進展とともに、この割合のさらなる増加が懸念されています。

◆ **火を早く消す！**
万が一火災が発生しても**消火器**を備えていれば、安全確実に消火でき、被害を最小限に食い止めることができます。



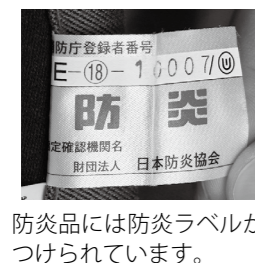
◆ **定期的な点検を！**
住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過しているため、電池切れや故障に気付かず、火災が発生した時に作動しないことがあるので、定期的に作動確認をすることが大切です。新しい電池へ交換する際は、取扱説明書や販売店などで電池の種類を確認してください。

◆ **設置が必要となりません。**
設置が必要となりません。
設置しなければならない箇所
寝室：普段の就寝に使用している部屋
階段：寝室がある階の階段の上端
※その他、台所など火災の発生のおそれがある箇所にも努めて設置するようお願いします。

◆ **火を拡大させない**
死者が発生した住宅火災の主な出火原因は、寝たばこや調理中の着火によるものでした。このような火災による死者を防ぐため、パジャマやエプロンといった衣類や、枕や布団カバーなどの寝具には燃えにくく作られた**防災品**があります。カーテンやじゅうたんなども防災品であれば、万が一火災が発生しても、急激に火災が拡大するのを防ぐことができます。



「消火器は大きくて置く場所がない」「重くてうまく使えない」と思っている方のために、通常の消火器より小さくて軽い**住宅用消火器**があります。ホームセンターなどで3～5千円程度で販売されています。もしもの時を考えて今から備えておきましょう。



ごみを減らして 環境にやさしいまちへ

ごみを減らすことは環境への負荷を低減させるために、私たちができる取り組みです。10月は「3R推進月間」です。3Rとは「Reduce (排出抑制)」「Reuse (再使用)」「Recycle (再生資源の活用)」の頭文字の総称です。
今日から「3R」活動を実践し、環境にやさしいまちにしていましょう。

今日から3R活動

Reduce (排出抑制)

- ・ 不必要なものは買わない
- ・ 買い物にはマイバックを持参

Reuse (再使用)

- ・ 詰め替え用の製品を選ぶ
- ・ リサイクルショップを活用する

Recycle (再生資源の活用)

- ・ ごみを正しく分別する
- ・ リサイクル製品を積極的に購入する

平成28年度の敦賀市民1人1日当たりのごみ排出量は1,029グラムでした。また、総ごみ排出量に占めるリサイクル量の割合は15.1%でした。
市では平成29年3月に「敦賀市一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行い、平成32年度の1人1日当たりのごみ排出量とリサイクル量の割合を左記のとおり定めました。目標を達成できるように、今日からごみの減量やリサイクルに取り組みましょう。

ごみ排出量	1,029g (平成28年度)
	↓
	963g (平成32年度)
リサイクル量の割合	15.1% (平成28年度)
	↓
	17.5% (平成32年度)

◆ **リサイクル率を向上させるために**
リサイクル率を向上させるために、紙資源(新聞、雑誌、ダンボール、紙製容器包装)を積極的にリサイクルしていきましょう。
燃やせるごみと間違えやすい紙資源。きちんと分別し、種類ごとにひもで縛って出しましょう。

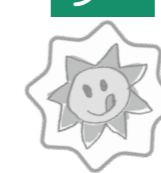


食卓で「3R」活動

福井県では、燃やせるごみの約半分を占める食品廃棄物の削減をめざし、食材を無駄なく食べきり、生ごみ減量化に向けた取り組みの定着を図るため「おいしいふくい食べきり運動」を展開しています。
食べ残しを減らす取組みにご協力をお願いします。

今日からあなたも食べきりアクション

- ◆ **ご家庭で**
○ 買い物に出かける前に冷蔵庫を確認し、必要な分だけ購入しましょう。
- 調理方法を工夫して、食材を使い切り、必要な分だけ料理を作ります。
- ◆ **飲食店で**
○ 食べきれないと思ったら小さ盛りで注文できるか聞いてみましょう。
- 酒宴の席では、開始30分間、終了10分間など、席を立たずに食べる時間を作りましょう。



問合せ先 環境廃棄物対策課 ☎22-8185